

ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人。そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたい人。



ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で9270万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元氣」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元氣」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム Dai gia dinh Viet Nam」を正に体现する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れとものとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3・4年生の授業では、ベトナム人と日本人と一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいなから常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieus khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手気遣い言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思う Uong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随えNhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さんNhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン チャーウ カーック バーン」 Xin chào các bạn!

学生の声



2年 森本 大聖

皆さん、こんにちは！

最近多くのメディアでベトナムのことが取り上げられるようになり、皆さんにとってベトナムは馴染みのある国になってきたかと思いますが、実際にベトナムは日本人にとって馴染みやすい国です。例えば主食が米であること、敬語のような言葉遣い、また漢字由来の言葉が多いことなどです。

そんなベトナム語専攻の大きな特徴を二つ紹介したいと思います。

まず一つ目は、一年生の夏休みにある、三週間のベトナム研修です。約五か月間学んだだけベトナム語を、現地の空気と匂いの中で耳にし、また話すことは、これ以降のベトナム語学習の大きなモチベーションになっていると感じます。実際に僕も、買い物や食堂での注文の際、拙いベトナム語を必死に使い、伝わる喜び、うまく伝わらない悔しさを経験しました。

また二つ目は、卒業論文をベトナム語で書くということです。

ベトナム語専攻は、自らの専攻語を使って卒業論文を書く、という珍しい専攻です。「きつそう…」と感じるかもしれませんが、しっかりと書けるよう先生方の愛のある指導が受けられます。またこれを書き上げることは、高度なベトナム語能力の獲得だけではなく、書き上げる根性、粘り強さまで手に入れることができます。そういった点は将来にわたっての力になります。

こうした専攻のイベントはもちろんですが、ベトナムを学ぶことそれ自体が面白いことの連続です！ぜひ、一緒にベトナム語を勉強しましょう！



留学体験記



4年 芦田 春香

私は去年一年間ベトナムの首都ハノイで留学をしました。留学中は、授業はもちろん大家さんとの会話から買い物に至るまで全てベトナム語。ベトナム語は声調のあるメロディー性に溢れた美しい言語ですが、それに影響され相手の話がよく分からず、留学早々完全に自信を失いました。ですが、ベトナム人の友達の「誰も春香の間違いなんか気にしないよ」という言葉で吹切れて、もう間違えてもいいや、という緩い気持ちで友達と沢山遊びに行くようにしました。日本人の私一人でベトナムの人々と山奥までボランティアに行ったり、結婚式に参加したり、ベトナム人の友達と旅行に行ったり。中でも沢山の友達の実家に遊びに行かせてもらい、お正月も一週間くらい友達の家で過ごさせてもらったのは強烈な思い出です。日本人としては外国人を実家に招くというのは中々難しいことだと思うのですが、ベトナムの人々は誰でもすぐに誘ってくれます。友達の家族皆に自分の名前を呼んでもらい、一緒に円になって座り、同じご飯を食べ、ベトナム語で話す。外国人の私を家族同然にここまで温かく迎え入れてくれるのかと感動しました。帰国が近づくと帰りたくなってよく泣きました。ベトナムの人々の温かさ、奥深い文化、美味しい料理、美しいベトナム語にどっぷりつかった一年でした。

みなさんもベトナム語でベトナムに飛び込みませんか！きっと日本とは違う、ベトナムならではの新しく温かな世界が待っています。

